

富山高等専門学校技術振興会寄付金

令和 6 年度 (R6.10.1～R7.9.30) 事業報告

1. 研究に関する事業 (予算額 : 1,850,000 円、執行額 : 252,070 円)

1) 共同研究助成 (R6 予算額 : 1,300,000 円、執行額 : 252,070 円)

富山高専教員と会員企業との共同研究等を実施した。研究に対する助成については、対象となった 13 件 (共同研究全体 75 件) に助成を実施した。(別紙参照)

研究助成 A (技術相談から新たに実施された共同研究課題への補助) については当該年度はなかった。今年度は是非とも多くの企業からの技術相談を期待している。

2) 技術相談 (R6 予算額 : 50,000 円、執行額 : 0 円)

富山高専教員及びコーディネーターが、会員企業の技術ニーズを掘り起こし、富山高専の技術シーズを紹介した。今回はそれにともなう経費の拠出はなかった。

3) 共通機器管理支援 (R6 予算額 : 500,000 円、執行額 : 0 円)

共通機器管理の支援は行わなかった。

今年度はこの支援を見直し、教育活動の高度化に関する支援へと変更したい。

2. 教育に関する事業 (予算額 : 3,300,000 円、執行額 : 2,233,693 円)

1) キャリア教育・就職支援 (R6 予算額 : 3,200,000 円、執行額 : 2,233,080 円)

①会員企業への富山高専学生及び教職員の見学等の支援を実施した。

(予算額 : 400,000 円、執行額 : 462,000 円)

・県内工場見学・企業見学

令和 6 年 10 月 25 日 (金)

立山科学グループ (電子情報工学科 3 年生が参加)

株式会社スギノマシン (国際ビジネス学科 3 年生が参加)

バルチラジャパン株式会社 (商船学科 3 年生が参加)

令和 7 年 9 月 24 日 (水)

コマツ NTC 株式会社、日本ゼオン株式会社高岡工場 (機械システム工学科 3 年生が参加)

協和ファーマケミカル株式会社、シミック CM0 株式会社 (物質化学工学科 3 年生が参加)

令和 7 年 9 月 25 日 (木)

北陸電力株式会社 (電気制御システム工学科 3 年生が参加)

会員企業の工場見学を実施し、学生の進路意識や学習意欲の向上を図った。

・専攻科授業科目「地域産業学」における工場見学

令和 6 年 12 月 9 日 (月)

北陸電気工業株式会社 (エコデザイン工学専攻 1 年)

アイシン軽金属株式会社 (制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、海事システム工学専攻の 1 年)

会員企業の工場見学を実施し、学生の進路意識や学習意欲の向上を図った。

②富山高専学生、保護者及び教職員に対して、会員企業の概要等を学習する機会である企業研究会・産学連携教育（Ti-TEAM）の支援を実施した。

（予算額：1,550,000 円、執行額：1,563,100 円）

・技術振興会会員企業による企業説明会（企業研究会）の支援

令和6年11月6日（水）（参加企業：98社 参加学生：260名）

学生のキャリア教育の一環として、会員企業と懇談できる場を設けることにより、実社会にはどのような企業があり、企業はどのような人材を求めているかを学生自らが研究する機会を提供する目的で実施した。

・産学連携教育（Ti-TEAM）の支援

令和6年11月12日、13日、14日（参加企業：36社、対象学生：1年生）

全学科1年生を対象に、協力いただいた技術振興会企業の事業・業務内容を学ぶ産学連携教育プロジェクトを実施した。

※産学連携教育（Ti-TEAM）とは、全学科1学年を対象とした会員企業の事業・業務内容を学ぶ産学連携教育プロジェクトであり、異なる学科で構成された学生チームが、担当する会員企業の特徴やデータの活用について事前調査し、取材、レポート作成を経て、多角的な視点から理解を深めることを目標とした事業である。

③海外インターンシップ（会員企業の海外事業所）引率及び富山高専教職員の海外短期派遣への助成（予算額：700,000円、執行額：0円）

海外インターンシップ等の助成を行わなかった。

今年度は高専機構が実施しているグローバル関連経費から拠出を行っている。

④会員企業との共同研究に関する学生による学会発表経費の支援を実施した。

（予算額：300,000円、執行額：120,000円）

2名について発表旅費の支援を実施した。

それら発表内容については交流会でポスターを掲示している。

⑤学生のキャリアアップのための支援を実施した。（予算額：250,000円、執行額：87,980円）

・進路ガイダンス

実施日：令和7年1月17日（金）（講師：卒業生5名、対象学生：76名）

学生の進学・職業選択の自己理解と進路形成への認識を深めるため、国際ビジネス学科の卒業生による進路ガイダンスを実施した。

2) シニアフェローによる教育・研究支援（R6予算額：50,000円、執行額：0円）

・会員企業からシニアフェローを任命し、教育に対する助言等の支援を行った。

○令和6年度 専攻科・エコデザイン工学専攻「特別演習」成果発表会

実施日：令和7年7月16日（水） 10：10～12：10

開催場所：本郷キャンパス専攻科棟2階 特別演習・実験室等

参加いただいたシニアフェロー（順不同）

・藤田 正良（元国立高等専門学校機構）

・臼沢 太一（コマツNTC株式会社）

・江田 賢二（松嶋建設株式会社）

・福島 良浩（田中精密工業株式会社）

- ・生地 弘 (株式会社三田商会)
- ・坂 裕 (ゼオンノース株式会社)
- ・長浜 啓一 (株式会社 KANAYA)

○「技術と環境」

内容：専攻科生向けに開講している授業科目において講義を行った。

- ・令和7年6月10日（火）今井 麻美（株式会社富山環境整備 イハーション推進室室長）
- ・令和7年6月17日（火）高木 悅郎（T S K株式会社 代表取締役会長）
- ・令和7年6月24日（火）細野 恭成（株式会社アイペック 取締役 技術統括部長）
- ・令和7年7月1日（火）川尻 浩之（立山科学グループ 取締役 総務部長）
- ・令和7年7月8日（火）堀 栄男（三谷産業イー・シー株式会社 産業事業部 金沢営業部長）
- ・令和7年7月15日（火）松嶋 幸治（松嶋建設株式会社 代表取締役専務）

3) 企業人材育成に関する支援（R6 予算額：50,000 円、執行額：613 円）

次世代スーパーエンジニア養成コース講師派遣を行った。

3. 広報に関する事業（予算額：550,000 円、執行額：90,760 円）

1) 情報の発信（R6 予算額：450,000 円、執行額：90,760 円）

①会員企業に対して、情報発信を行った。（予算額：50,000 円、執行額：0 円）

内容：富山高等専門学校技術振興会ホームページを更新し、イベントなどの実施状況について情報発信を行った。

※富山高等専門学校技術振興会の URL : <https://www.nc-toyama.ac.jp/tech/>

②情報発信の一環として、会員企業及び富山高専教職員を対象とした講演会に係る費用の補助を行った。（予算額：200,000 円、執行額：2,760 円）

情報発信の一環として、R6 総会において 3 名の本校教員が講演した。

開催日：令和6年10月31日 開催場所：ホテルグランテラス富山

【講演内容】

『会員企業の支援でやってきたこと』

特任教授 コーディネーター 浜下 朝夫

『海外派遣等のグローバル事業について』

富山高等専門学校国際教育センター長 峰本 康正

『スタートアップ、企業研究、課題発見型インターンシップについて』

富山高等専門学校研究開発共創センター長 袋布 昌幹

③両キャンパスの名板を更新する。（予算額：200,000 円、執行額：88,000 円）

富山高等専門学校の両キャンパスに設置してある技術振興会会員の名板プレートの更新を行った。

2) 研究会等支援（R6 予算額：100,000 円、執行額：0 円）

・会員企業及び富山高専教職員を対象とした研究会（コラボフォーラム等）の実施を支援した。

○とやま KOSEN コラボフォーラムの開催

開催日時：令和7年2月5日（水）13:30～17:30

参加者：43名（技術振興会会員、教職員）

【講演内容】

富山高専の研究紹介プレゼンテーション

『若潮丸代船建造について』

船舶運航センター長 松村 茂実

『产学連携と研究高度化のワンストップサービスに向けて：研究開発共創センター

1年目の活動報告』

研究開発共創センター長 袋布 昌幹

技術振興会会員企業によるプレゼンテーション

『当社のルーツと産業・環境機械の概要』

新日本海重工業株式会社 設計技術部長兼調達部長 岩城 正芳 様

『“健康と美”を追求した独創的な製品の開発・研究』

五洲薬品株式会社 研究開発部長 佐伯 行紀 様

4. その他の支援事業（予算額：11,890,746 円、執行額：5,607,524 円）

1) 会員企業等との連携強化に関する事業（R6 予算額：1,000,000 円、執行額：1,080 円）

- ・富山高専と地域との教育・研究活動の活性化を図る新規事業の実施を支援。
- ・会員企業への企業訪問・調査経費

2) コーディネーター支援（R6 予算額：7,200,000 円、執行額：5,517,301 円）

コーディネーターの活動に対する支援を行い、コーディネーター3名体制による産学連携活動の強化を図った。

3) 技術振興会事務局等 運営費（R6 予算額：3,690,746 円、執行額：執行額：89,143 円）

- ・地域連携推進に係る環境整備を行い、産学連携・地域連携活動を支援できる体制を整える。
- ・事務局運営費

R6 年度当初予算額合計：17,590,746 円

（事業費：10,500,000 円+前年度繰越額：7,090,746 円）

※認出金により事業費 10,050,000 円で算出

R6 年度 予算額合計：17,140,746 円

（事業費：10,050,000 円+前年度繰越額：7,090,746 円）

R6 年度執行額：8,184,047 円

残額：8,956,699 円